



記者発表資料

平成 29 年 10 月 17 日

担当 みどり課 永井

電話 2642

第 37 回「緑の都市賞」内閣総理大臣賞の受賞について

「鎌倉市緑の基本計画推進の取り組み」が、第 37 回「緑の都市賞」内閣総理大臣賞を受賞しました。

- 1 受賞内容 第 37 回「緑の都市賞」内閣総理大臣賞
(樹木や花、水辺などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化、青少年の育成等に取り組み、環境や社会に対する貢献の実績と成果をあげている市民団体、企業、公共団体等を顕彰するもの。賞状及び副賞の授与。緑の市民協働部門、緑の事業活動部門、緑のまちづくり部門の 3 部門のうち 1 点を内閣総理大臣賞として表彰するものです。)
- 2 応募部門 緑のまちづくり部門
(都市や地域の緑化や緑地の保全について、地域の個性を活かした施策を展開し、その成果をあげているもの)
- 3 主 催 公益財団法人都市緑化機構
- 4 表彰式 日時：平成 29 年 12 月 4 日 (月)
場所：明治記念館
- 5 特記事項 平成 29 年 10 月 27 日 (金) に開催を予定している「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会 (場所：日本消防会館) にて、鎌倉市から受賞に関する報告を予定しています。

※公益財団法人都市緑化機構においても、本件について発表されています。



2017 年 10 月 17 日プレスリリース

 発信元：(公財) 都市緑化機構
 TEL:03-5216-7191

都市の緑 3 表彰 受賞者決定

「第37回緑の都市賞」「第28回緑の環境プラン大賞」「第16回屋上・壁面緑化技術コンクール」

緑豊かなまちづくりに貢献する市民団体、企業等を表彰します

(公財) 都市緑化機構では、人々の暮らしに潤いと安らぎを与え、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全に寄与する都市の緑地保全と緑化推進の普及啓発を目的とした3つの表彰事業「都市の緑 3 表彰」を実施しております。このたび、厳正な審査の結果、内閣総理大臣賞をはじめとする各賞の受賞者を決定いたしました。

2017 年 12 月 4 日に明治記念館(東京都港区)において表彰式を行います。

第37回緑の都市賞 《内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞他》

1981(昭和56)年に創設。緑豊かな都市づくりの推進を目的に、みどりを生かした環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を表彰します。(P2-P4)

第28回緑の環境プラン大賞 《国土交通大臣賞、おもてなしの庭大賞他》

1990(平成2)年に創設。同年に開催された「国際花と緑の博覧会」の理念を踏まえ、緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプランの実現のための助成を行います。(P5-P7)

第16回 屋上・壁面緑化技術コンクール 《国土交通大臣賞、環境大臣賞他》

2002(平成14)年に創設。都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、これまで緑化が困難とされてきた屋上、壁面等の特殊空間の緑化に積極的に取り組み、優れた成果をあげている民間企業、地方公共団体、個人等を表彰します。(P8-P10)

主催 (公財) 都市緑化機構：会長 矢野龍 東京都千代田区神田神保町 3-2-4

(一財) 第一生命財団：理事長 森田富治郎 東京都千代田区平河町 1-2-10 ※

※ 緑の環境プラン大賞主催

特別協賛 第一生命保険株式会社：代表取締役社長 稲垣精二 東京都千代田区有楽町 1-13-1

問合せ先 公益財団法人都市緑化機構 「都市の緑 3 表彰」担当 上野、益永、小松、菊池
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-4 田村ビル 2 階
 TEL:03-5216-7191 FAX:03-5216-7195 Email: midori.info@urbangreen.or.jp
 URL: <http://urbangreen.or.jp/>

第37回 緑の都市賞 受賞団体

応募総数49件、第一次審査会：平成29年9月5日、第二次審査会9月27日

◎内閣総理大臣賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概 要	
緑のまちづくり部門	鎌倉市緑の基本計画推進の取り組み (神奈川県鎌倉市)	鎌倉市	全国に先駆けて策定した緑の基本計画に基づき、法に基づく緑地保全制度の活用や、独自の財源確保の工夫、市民・企業と連携した啓発活動等の充実した施策を永年に渡り展開し、古都鎌倉の歴史的風土を構成する緑地や歴史遺産を着実に保全している。	

◎国土交通大臣賞 [3点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概 要	
緑の市民協働部門	あすかオーナー制度～棚田オーナー、うまし酒オーナー～ (奈良県明日香村)	特定非営利活動法人 明日香の未来を創る会 大字阪田	古都保存法に基づき公有地化した棚田等を活用してオーナー制度を立ち上げ、都会との交流を通じた集落の活性化に取り組み、地域固有の景観と文化の保全、及び地域資源に対する村民の意識向上を図っている。	
緑の事業活動部門	サンデンフォレスト赤城事業所における緑の保全活動 (群馬県前橋市)	サンデンホールディングス株式会社	工場敷地において、ビオトープ池、オオムラサキ、ホタル、夜蚕の再生等、現在では多くの企業が取り組んでいる多様な技術、工法を用い、時間をかけて自然再生に取り組んでいる。	
緑の事業活動部門	品川シーズンテラス (東京都港区)	NTT都市開発株式会社 品川シーズンテラスビルマネジメント株式会社 大成建設株式会社一級建築士事務所 株式会社NTTファシリティーズ	東京都が管理する下水処理施設上において、人工地盤を構築し、3.5haに及ぶ緑地を創出。この広大な緑地が、風の道として都心に冷気を導くとともに、地域住民やオフィスワーカーにとっての寛ぎと憩いの場として活用されている。	

◎都市緑化機構会長賞 [3点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	日比谷公園 ガーデニングショーの 14年にわたる開催 (東京都千代田区)	日比谷公園 ガーデニングショー 実行委員会	2003年、日比谷公園開園 100 周年を契機にスタートした事業で、花と緑、環境・緑化団体の関係者がボランティアで企画・運営で手作りのイベントを継続している。	
緑の市民協働部門	地域総参加による 「水の都・三島」の 「緑と水のネットワーク」創造 (静岡県三島市)	特定非営利活動法人 グラウンドワーク 三島	緑と水の生物多様性にあふれた水辺の自然環境を創出し、三島の原風景・原自然の再生・復活に取り組む。また、環境教育の場として次世代の守り人を育成している。	
緑の事業活動部門	東京ガーデンテラス 紀尾井町 (東京都千代田区)	株式会社西武 プロパティーズ 株式会社 ブレイスメディア 株式会社 日建設計	名門ホテル跡地に、タワー棟と旧李王家邸により構成された施設。お濠沿いの桜や大径木の保全、隣地の清水谷公園との連携など都心の貴重な自然資源となっている。	

◎奨励賞 [4点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	菩提樹池周辺緑地 保全活動 (埼玉県所沢市)	菩提樹田んぼの会 山口の自然に 親しむ会 菩提樹池愛好会	多様な植物・生物が棲む環境を次世代に引き継ぐため、3つの会が協力して活動。地域で結んだ「菩提樹池と周辺の緑を守る協定」をもとに、保全活動を進めている。	
緑の市民協働部門	「下田の杜」の 保全活動 (千葉県柏市)	下田の杜里山 協議会	地権者、市民、柏市の協議による結果、開発から守られた杜の管理活動を続けながら、「下田の杜里山憲章」を定めその理念を次世代に残す普及啓発を進めている。	
緑のまちづくり部門	朝霞市 (埼玉県朝霞市)	朝霞市	武蔵野の風景の面影を残す市内の緑と水辺の保全や、緑化の推進に取り組みながら、市の特徴である斜面林や湧水、黒目川の保全と活用に取り組む。	
緑のまちづくり部門	東京都狛江市: 狛江版 CSA (東京都狛江市)	狛江版 CSA 発足準備協議会 狛江市 鹿島建設株式会社 環境本部	都市農地が抱える様々な課題を解決するため地域コミュニティに支えられた農業手法を取り入れ、多様な主体が連携した取り組みを展開している。	

第 37 回 緑の都市賞 概要

■ 目的

明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組み、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに都市の緑の保全や緑化の推進にあたり個性的な施策に取り組み、顕著な成果を上げている公共団体を顕彰し、緑豊かなまちづくりの普及と実現を目指すものです。

■ 募集の対象

緑の市民協働部門	応募資格：主に市民団体 ボランティアを基本とした緑化活動で、地域の社会や環境へ貢献するもの
緑の事業活動部門	応募資格：主に民間事業者 ・民間、公共を問わず都市の緑の保全や創出を事業活動またはその一環として取り組んでいるもの ・NPO 法人等でも、公園の指定管理者など活動の大半を委託事業として取り組んでいるものも含む ・学校や病院等で、業者委託として緑地の整備や管理を行っているものも含む
緑のまちづくり部門	応募資格：主に市区町村 都市全般の緑化に取り組み、その成果をあげているもので、地域の個性を活かした緑化を展開しているもの

■ 表彰

内閣総理大臣賞	1 点	[副賞 20 万円 (活動助成金)]
国土交通大臣賞	3 点以内	[副賞 15 万円 (活動助成金)]
都市緑化機構会長賞	3 点以内	[副賞 10 万円 (活動助成金)]
奨励賞	若干	[副賞 5 万円 (活動助成金)]

※副賞の活動助成金は「緑の市民協働部門」の受賞団体のみを対象。

■ スケジュール

募集期間 2017年4月1日～6月30日

入選発表 2017年10月17日

審査会 一次：2017年9月5日 二次：9月27日 表彰式 2017年12月4日 於：明治記念館

■ 審査委員

委員長	樺山 紘一	印刷博物館館長
委員	池邊 このみ	千葉大学大学院園芸学研究科教授
	石川 幹子	中央大学理工学部人間総合理工学科教授
	井上 洋	一般社団法人日本経済団体連合会政治・社会本部参事
	栗田 卓也	国土交通省都市局長
	陣内 秀信	法政大学 デザイン工学部建築学科教授
	野口 智子	ゆとり研究所所長
	涌井 史郎	東京都市大学環境情報学部環境情報学科教授
	武富 正夫	第一生命保険株式会社取締役常務執行役員
	宮下 和正	公益財団法人都市緑化機構専務理事

■ 主催等

主 催：公益財団法人都市緑化機構

後 援：国土交通省、総務省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会

特別協賛：第一生命保険株式会社

協 賛：日本商工会議所、公益社団法人日本青年会議所、一般社団法人日本公園緑地協会、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般財団法人公園財団、一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、公益財団法人河川財団、一般社団法人日本建設業連合会

第 37 回「緑の都市賞」内閣総理大臣賞を受賞しました

緑の基本計画に基づく充実した施策を長年にわたり展開し、古都鎌倉の歴史的風土を構成する緑地や歴史遺産を着実に保全していることが評価され、第 37 回「緑の都市賞」において「内閣総理大臣賞」に選ばれました。

今後とも皆様のご理解ご協力を賜りながら、「鎌倉市緑の基本計画」の推進に取り組んでまいります。



表彰式の様子
(平成 29 年 12 月 4 日)

問合せ先：みどり課（本庁舎 3 階）

来庁者用：本庁舎 1 階受付に設置（平成 29 年 12 月 28 日迄）

